

# 移住

一移住者から見た十和田市一

本市は令和3年3月に人口が6万人を割り、急速に人口減少が進む中、人口減少対策としてさまざまな取り組みを行っています。中でも、移住支援制度を活用した移住者数は年々増えており、令和2年度は57世帯・134人が本市に移住しました。

今回は、移住支援制度を活用して十和田市へ移住し、「十和田市移住応援サポーター」(※)に登録しているお二人にインタビューし、移住のきっかけや十和田での暮らしなどについて伺いました。

(※) 移住応援サポーターとは、移住を検討している人や実際に移住した人などの身近な相談役として活動し、市と協働で移住の推進に取り組む人たちです。



中村 あずみさん

## 十和田市で好きな場所は？



建築物や、ギャラリー巡りに興味がある中村さんは、現代美術館や市民図書館などによく足を運んでいるそうです。

## とても暮らしやすい街

母の闘病と父の他界がきっかけで、息子の小学校入学に合わせ埼玉からUターンしました。首都圏で行われていた移住相談会に十和田市も参加していたので、それに参加しさまざまな相談をしました。

引っ越しの際には、市の移住支援制度を利用し、大変助かりました。

現在は、主に、翻訳・通訳業、ガイド業をしています。以前は会社員でしたが、子どもが生まれてから、子育てと仕事を両立するため個人事業主になり、Uターンをしてからもこの仕事を続けています。また、4月からは小学校で日本語教育支援員として働く機会をいただき、微力ながらお手伝いさせていただいています。その他に、旅をメインとした書籍・絵本の販売やコワーキングスペース(仕事などの打ち合わせをする場所)を提供する「Book&Space 旅空間」を開設しています。

埼玉と比べ、夏はとても過ごしやすく、冬を除けばとても暮らしやすいと思います。また、野菜などの食べ物もおいしいです。子どもが遊ぶ場所が多くあるのもうれしいです。自然もたくさんですし、大きな公園などもあり、お金をかけなくても楽しめる場所が多く、子どもを伸び伸び育てられる環境だと思います。

十和田市は、若い人たちが頑張っているイメージがあるので、今後も、応援しながら見守っていきたいと思います。

旅の本をメインにしたブックスペース。仕事もこちらで行っています。



## 令和3年度の主な移住支援制度

皆様のご家族やお知り合いなどに移住を検討している人などがいましたら、ぜひお知らせください。

**\*移住支援金** 政策財政課 ☎⑥6712

「Aomori-job」(青森県公式就職情報サイト)に掲載している求人に就業した人などに、最大100万円の移住支援金を支給します。

**\*住宅取得等支援事業、引越し支援事業**

本市に転入し、住宅を新築・購入・改修した人や引っ越しした人へ経費の一部を補助します。

**\*結婚新生活支援事業**

新婚世帯に対し、結婚に伴う住宅取得、住宅賃借、引っ越しに係る経費の一部を補助します。



佐藤 正典さん

## 十和田市で好きな場所は？



八甲田山や温泉など、自然に触れられる場所に癒されているそうです。

## 人と人のつながりがある場所

30歳の時に、ワーキングホリデーでオーストラリアとニュージーランドに約2年間滞在し、その時に人生で初めて農業を体験し「面白い」と思い、自然と共存した生き方をしたいと思うようになりました。移住する前に、市の移住お試し住宅を利用して、実際に十和田市で生活してみました。近くに川や畑などの自然がたくさんあり、集落から少しだけ離れているような場所に住みたいと思っていたので、市の移住担当者から空き家バンクに登録しているこの物件(法量・川代地区)を紹介されたときに即決し、妻と娘とともに移住しました。

また、この物件を仲介してくれた不動産屋さんがとても親切にしてくれ、この集落に住む方々とのつながりを紹介してくれました。おかげで、周りの方々もすぐに自分たちを受け入れてくれましたし、新たに移住してきた方たちとの交流も増えました。

25歳の時に、職場の先輩に連れられて行った宿の素晴らしさに衝撃を受け、その時に宿(ゲストハウス)をやりたいという気持ちが強くなり、将来はこの場所でさまざまな人が集まるゲストハウスを開きたいと考えています。現在は、林業をしながら、畑づくりをしたり、ゲストハウス開業に向けて家をリノベーション(修復)しながら、子育てを楽しんでいます。子どもやお年寄り、外国人などみんなが自然と関われる、集まりやすい場所を作れたらと思っています。

さらに自給力を上げて、将来的にはゲストハウスに



## 移住応援サポーターを募集しています

- 対象** 本市に住所を有している人で、移住を検討している人などへの相談に対応できる人
- 活動内容** ▶移住を検討している人、お試しで短期間移住する人、実際に移住してきた人への相談に対応  
▶移住を検討している人へ、地域情報(普段の生活や行事に関する情報、空き家などの住宅に関する情報)を提供
- ※ボランティアとして協力いただくので、報酬はありません。随時募集していますので、詳しくは政策財政課までお問い合わせください。

**\*移住・定住就農支援事業** 農林畜産課 ☎⑥6741

市内に移住する新規就農者を対象に、家賃補助、住宅改修補助、技術指導などの各種支援を実施します。

**\*創業支援・空き店舗等活用事業** 商工観光課 ☎⑥6773

本市に転入し、市内の空き店舗を活用し事業を開始する人へ、改修などの経費の一部を補助します。

**\*U・I・Jターン移住就職奨励金**

本市に転入し、市内事業所に就職した人(新卒者・公務員などを除く)に就職奨励金を交付します。

※申請の要件がありますので、詳しくは移住情報発信ポータルサイト「日々コレ十和田ナリ」をご覧ください。